

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

<p>学校教育目標</p>	<p>1 生徒一人一人を大切にし、その全人的な発達を図ります。 2 学ぶことを愛し、豊かな情操と健全な心身を養い、自らの可能性を追求して個性を伸ばし、将来における自己実現の能力を培い、国家及び社会の有為な形成者となるとともに、国際社会においても貢献できる人材の育成を目指します。</p>		
<p>スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、自ら考え判断し、適切な行動ができる生徒（「好學時習」） ・幅広い視野をもって、主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓く力を身に付けた生徒（「質実剛健」） ・調和のとれた豊かな人間性や社会性、多様な人々と協調・協働する力を備えた生徒（「互敬友愛」） 	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の進路希望に応じた多様な選択科目と少人数クラス編成による「主体的・対話的な深い学び」の推進 ・課題を発見し探究する力や地域社会に貢献できる実践力を育むため、探究的な活動やキャリア教育の実践 ・他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるよう、学校生活全般において様々な経験を重ねることができる機会の提供 	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲をもち、発展的な学習に進んで取り組もうとする生徒 ・学習のみならず、部活動や生徒会活動、ボランティア活動など様々な活動にも積極的に取り組みたい生徒 ・高い規範意識をもち、豊かな人間性や社会性を身に付けたい生徒
<p>教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)</p>	<p>重点目標の達成に必要な具体的取組、方策</p>		<p>達成度の判断、判定基準あるいは評価指標</p>
<p>1 学校経営 全教職員が一体となって学校課題の解決に取り組み、明るさと活力に満ちた「規律ある進学型単位制高校づくり」を進めます。</p>	<p>①人間関係の円満な、風通しの良い職場になるよう報告・連絡・相談を徹底します。 ②新学習指導要領の趣旨を踏まえ、単位制高校の特色を活かした教育課程を編成します。 ③教職員の長時間勤務や多忙化解消をすすめるとともに、働きやすい職場づくりを推進することで、心身ともに充実して生徒と向き合える体制を整えます。 ④安全・安心な学校生活が送れるよう、新型コロナウイルス感染症に適切に対応します。</p>		<p>①生徒・保護者アンケート、 ②エントリーシート、自己評価 ③疲労蓄積度チェック ④個人情報チェック ⑤勤次郎</p>
<p>2 学習指導・進路指導 「主体的に活動する授業」「自発的に学ぶ授業」を工夫し、生徒自らが課題を見つけ解決していく力を養うことで、必要とされる学力を高め、生徒一人一人の進路目標を達成します。</p>	<p>①自己研修・互見授業等によって、ICT機器を活用した授業改善を行い、授業を通して生徒に必要な能力・大学入学共通テストに対応できる学力を育成します。 ②生徒一人一人の課題克服に向けた課題設定を工夫することで、生徒の自主的な取り組みを促し、家庭学習習慣の確立につなげます。 ③生徒の進路目標実現に向け、計画的・組織的に探究的な学びや進路ガイダンス、面談を行うとともに、各教科の授業を一層充実させます。 ④発展的学力を身に付けさせるため、補習授業等を一層充実させます。</p>		<p>①生徒・保護者アンケート、授業アンケート、進路アンケート、学習時間調査 ②生徒の姿（観察） ③模試試験結果、入試などの進路結果</p>
<p>3 特別活動 学校行事や部活動を充実し、自主性・自律性のある生徒を育てるとともに、ボランティア活動への積極的な参加を促します。</p>	<p>①学校祭や生徒会活動・ホームルーム活動・部活動において、出来る限り生徒に企画・運営を任せることで、生徒の自主性・自律性の育成を目指すとともに、達成感や自己肯定感を持てるようにします。 ②ボランティア活動の大切さを教え、積極的な参加を促すことで、社会との関わりについて学び、豊かな心を育みます。</p>		<p>①生徒・保護者アンケート ②生徒の姿（観察） ③部活動の加入状況や活動成果 ④各種ボランティア活動への参加状況</p>
<p>4 生徒指導 次代を担う社会の一員となるために必要な倫理観と規範意識を身に付け、主体的な判断や責任ある行動ができる生徒を育成します。また、安全で安心な学校生活が送れるようにします。</p>	<p>①生活委員会（MSリーダーズ）や部活動でのあいさつ運動とともに身だしなみを整える活動を行います。 ②安易な遅刻を防止するため、遅刻過多の生徒には担任、保護者と連携し、生活習慣を見直す指導を行います。 ③支援が必要な生徒の情報を把握し、必要な場合はケース会議を開催するなど組織的に対応します。</p>		<p>①生徒・保護者アンケート ②生徒の姿（観察） ③欠席・遅刻件数 ④心のアンケート</p>